



三事研広報 No.6

H25.3.26 発行



三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子
編集責任者 中村 弥生

日増しに春らしくなってきました。早いもので、今回の広報が今年度の最終号となります。

今年度も三重県公立小中学校事務研究会の活動にご参加いただき、また、活動アンケートへのご協力もいただきましてありがとうございました。いただいた貴重なご意見は、役員会・委員会で検討し、来年度以降の活動に引き継いでいきたいと思います。

各部活動のまとめ

研究部

「教育活動活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題とした「第6期中期研修計画」がスタートして4年目になりました。今年度は「協働とは何か」を考えながら「実践を積み重ねること」を提案し検証しました。

事務職員が果たすべき役割の方向性を示す「具体的行動指針」をより会員にわかりやすくするため、昨年度12月から始まった各支部からの実践発表や役員研修で、これまでの実践を交流しあい「教育活動活性化計画」と「具体的行動指針」にまとめたポイントが、どのように教育活動を活性化するのか、それを活用して事務職員が元気の学校づくりに主体的に関わる姿の「見える化」をはかり、研修を深めました。

また、日々の業務の参考になるよう具体的行動策中間案として提案し、学校組織の中で貢献していることの再確認をしました。今後さらに実践、交流を深め「教育活動活性化計画」「具体的行動策」の策定に取り組んでいきたいと考えています。

研修部

第6期中期研修計画4年目として、引き続き「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題に、今年度は、「実践を積み重ねることから始めよう」をテーマに、「協働」「実践交流」を中心に研究部と連携をとりながら、研修講座を企画しました。

実践発表では各支部から「情報」「財務」「安全」に関する取組が発信されました。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

そして、今年度の県大会では、岡山大学の高瀬淳先生の記念講演から、憲法や教育基本法などの原点に戻って学校教育の意味や、子どもたちの豊かな育ちと私たちの在り方についてお話いただきました。午後は伊賀支部からの工夫をこらした楽しい発表で、予算委員会をテーマに盛り沢山な内容となり、今後の予算委員会の充実につながる発表でした。多く方に参加いただいたことに感謝しております。

これまでにいただいたアンケートのご意見・ご指摘を十分検討させていただき来年度に引継ぎたいと思います。

1年間本当にありがとうございました。

情報部

本年度情報部では、調査活動、広報活動、事務の手引きの編集、ホームページの管理・運営を行ってきました。

調査活動では、県内の支部研究状況調査と共同実施について県内の実施状況調査を行い、広報活動では、三事研広報を年6回発行し、研究大会・研修講座の報告、全国大会や東海大会の案内や参加報告等を掲載しました。また会員の交流を図るため、広報誌「ひろば」を発行しました。

「事務の手引」編集委員会は、分かりやすく使いやすい手引きをめざして編集を進めてきました。ホームページ委員会は、組織、各部の活動内容の紹介をはじめ、「三事研広報」や研究大会の案内等を掲載し、情報の発信に努めました。今年度は、第2回の研修講座で希望者をつのり、ホームページについて学ぶ自主研修を開催し、多数の方に参加していただきました。ありがとうございました。

今年度いただいた「三事研活動内容アンケート」の貴重なご意見を、今後の情報部の活動に活かしていきたいと思っています。

一年間、情報部の活動にご協力いただきありがとうございました。

今年度末に退職される方へ

5月頃に、来年度の「ひろば」の原稿依頼を行う予定をしておりますので、4月からの連絡先（ご住所・電話番号かメールアドレス）を各支部の支部委員さん、もしくは情報部までお知らせください。連絡先：hiroba@miejiken.sakura.ne.jp

